

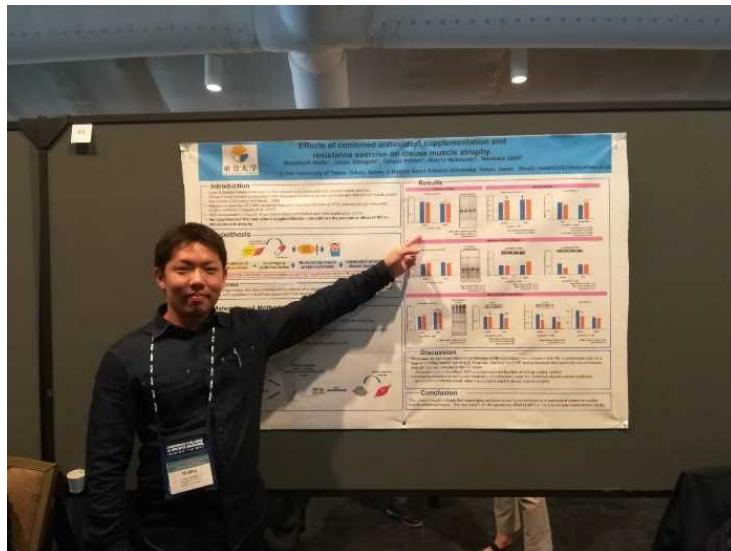
ACSM Conference on Integrative physiology of Exercise に参加して

生命環境科学系 修士2年 野田雅文

この度、「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2018年9月5日から9月8日にアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴで行われた American College of Sports Medicine (ACSM) Conference on Integrative physiology of Exercise に参加し、学会発表を行った。

自身の発表は、「Effects of combined antioxidant supplementation and resistance exercise on disuse muscle atrophy.」というタイトルでポスター発表を行った。本研究の主な成果は、廃用性筋萎縮に対してこれまで示されていた抗酸化剤投与と電気刺激という二つの治療法に関して、その二つを組み合わせた場合の効果を確認したことである。マウスを使用した自身の実験において抗酸化剤投与及び電気刺激はそれぞれ単独で筋萎縮抑制効果を示した。しかしながら、これら二つを組み合わせた場合には相加・相乗効果を得ることはできなかった。本結果に対し多くの研究者が関心を示してくれ、活発な議論をすることができた。

本学会は、スポーツ・健康科学系の国際学会の中でも非常に規模の大きな学会であり、シンポジウムや講演等では、当該分野の権威である著名な先生から最先端の話を聞くことができ、大変勉強になった。また、本学会に参加している同世代の研究者と交流を持つこともでき、とても良い刺激を受けた。今回 ACSM に参加して、4日間非常に有意義な時間を過ごすことができた。この経験を今後の研究活動にぜひ活かしていきたいと思う。



ポスター発表の様子